

秋季全国火災予防運動

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

11月9日(水)から15日(火)までの7日間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。これは、火災が発生しやすい季節を迎えるに当たり、皆さん一人ひとりに火災予防に対する認識を深めていただき、尊い生命や大切な財産を火災から守るための運動です。

日ごろから、次の7つのポイント(3つの習慣・4つの対策)を実践し、外出時や就寝前には、もう一度火の元を確かめ火災を発生させない、万一発生したときは、小さな被害で食い止められるように心掛けてください。

『住宅防火 いのちを守る 7つのポイント』 —3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンへの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

▶問い合わせ 消防本部予防課
☎550-2121



蓮まつり俳句・写真コンテストの入賞作品が決定

古代蓮の里を題材にした「俳句コンテスト」と「写真コンテスト」の入賞作品が決定しました。作品(俳句部門は最優秀賞1句・特選10句、写真部門は特選1点・入選10点・佳作15点)は古代蓮会館で展示しています。

なお、俳句の優秀作品集を商工観光課および同館で配布しています。

▶展示期間 11月20日(日)まで

▶その他 古代蓮会館の入館には入館料(大人400円、小人200円)が必要です。開館時間は午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

▶入賞者(順不同・敬称略)

【俳句】

最優秀賞 南雲秀子(所沢市)

特選 新井森久(熊谷市)、磯田かずえ(群馬県高崎市)、大塚美代子(東松山市)、岡田悠也(さいたま市)、笠原正士(群馬県館林市)、加藤あい子(草加市)、杉山榮(羽生市)、珍田千代子(群馬県安中市)、長岡司泉(鴻巣市)、丸山博子(鳩ヶ谷市)

【写真】

特選 田中三郎(小川町)

入選 石井良承(東京都日野市)、石川栄一(越谷市)、伊藤徹威(千葉県匝瑳市)、内野忠彦(さいたま市)、柴田宏(戸田市)、長島善江(行田市)、早野由香(東京都葛飾区)、原田源三郎(茨城県守谷市)、平澤悦夫(久喜市)、宮地英敏(加須市)

佳作 上島泰則(千葉県柏市)、及川庄一(小川町)、大熊文也(久喜市)、大場金蔵(東京都江戸川区)、川邊千代子(東京都品川区)、坂本徹(群馬県桐生市)、鈴木清子(さいたま市)、野島芳明(東京都福生市)、萩原武治(久喜市)、半田充右(行田市)、蛭川隆市(熊谷市)、増田稔子(行田市)、吉川和美(川口市)、吉田利夫(白岡町)、和木通(新座市)

▶問い合わせ 行田市観光協会(商工観光課内・内線382)



▼問い合わせ 消防本部予防課
☎550-2121

点検を迫る業者にも注意を
点検と称して、高額な手数料を請求する手口も発生しています。住宅用火災警報器の点検は、個人で簡単に行うことができます。業者が点検をすることはありませんので、このような点検は、はっきりと断りましょう。

※参考 一般的な価格は1個当たり3千円～4千円です(工事費別)。

悪質な訪問販売にご注意を
「消防署の方から来ました」と言っ
て消防職員を装い、住宅用火災警報器を高額で販売したり、無理やり購入させたりする事例が発生しています。消防職員が、住宅用火災警報器を訪問販売することはありません。このような悪質な業者が訪問販売に来た場合は、はっきりと断りましょう。

今年6月からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。住宅火災から皆さんの大切な命と財産を守るために、住宅用火災警報器を設置していない家庭は、早めに取り付けましょう。



住宅用火災警報器を
設置しましょう